

中学・高校生～

2023 年 3 月 no.85

2023

よんでネット*

春号

発行□茅ヶ崎市立図書館／協力□茅ヶ崎図書館子どもの本の会

そらのことばが降ってくる 保健室の俳句会

高柳 克弘 / 作

顔のホクロをからかわれ教室に行けなくなったソラは、保健室で俳句好きで風変わりな同級生ハセオに出会う。俳句という俳句遊びに誘われ、俳句に興味を持ち始めるソラ。養護の北村先生やハセオと一緒に俳句に触れるうち、俳句の自由で深い表現の世界にどんどん魅せられていく。ソラは、学校の新春俳句大会で思い切って自分の心と向き合った句を作り…。



ポプラ社 [913 9]

(※謎句→五七五に書かれていない、隠された言葉を当てるゲーム)

『僕は、そして僕たちはどう生きるか』
『ほんとうのリーダーのみつけかた』

梨木 香歩 / 著



梨木 香歩

▲理論社 [913 6ナ]

▲岩波書店 [914 ナ]



ほんとうの
リーダーの
みつけかた

あなたは、そう思っていないのに、強そうなひとの意見に流されてしまうことって、ありませんか？“非常時”というかけ声のもと、みんなと同じでなくてはならないという圧力が強くなっています。世の中が、大きく激しく動く時でも 自分を保つためにはどうしたらいいか。その時、あなたが一番耳を傾けるべき存在は、実はあなたの身近なところにいるのです。

(※『ほんとうのリーダーのみつけかた』は、『僕は、そして僕たちはどう生きるか』のトークセッションの講演録と、雑誌『図書』に掲載された記事をまとめたものです)

村木ツトム その愛と友情

ふくい さとる
福井 智 / 作
もり 英二郎 / 絵



偕成社【9137】

大阪に転校してきた中学2年の村木ツトム。「五秒だけ、彼になって」と学校で一番の美女マリさんに言われては舞い上がる。しかし、そう甘くはなかった。彼氏と別れたいから、彼氏の前で5秒だけ抱きしめてほしいというのだ。彼氏にどつかれたら どうしよう…

「いや、これはチャンスや！」友だちの西川に励まされたツトム
の恋の行方やいかに？

目で見る ことばで話をさせて

アン・クレア・レゾット / 作
横山和江 / 訳



岩波書店【9331】

11歳のメアリーは、目が聞こえない。メアリーのすむ島では、耳の聞こえない人の割合が高く、誰もが手話と声の両方を使って会話をしていた。ある日、耳が聞こえないのは“病気”と考えたひとりの科学者が、その原因を探るためやって来た。彼は、メアリーを標本にしようと誘拐するが…。

これは、1800年頃の島民が手話で話したという実在の島が舞台の物語。

『アンネのバラ』

40年間つないできた平和のバトン（世の中への扉） くにもり やす ひろ 國森康弘 / 文・写真

『アンネのこと、すべて』

アンネ・フランク・ハウス / 編 小林エリカ / 訳 石岡史子 / 日本語版監修



ポプラ社【287】▶

◀ 講談社【287】



東京の高井戸中学校には、“アンネ・フランクの形見”という名の大切に育て続けているバラがある。アンネの父から贈られたバラだ。

“アンネのバラを育てることは、平和の願いを受け継ぐこと”
—ユダヤ人のアンネは、第二次世界大戦中にナチスドイツの強制収容所で15歳で命を落とすが、その日記は、今は世界中で読まれている—

『アンネのこと、すべて』に、沢山の写真とともに紹介されています。